

平成22年12月市議会定例会 一般質問  
質問する議員名及び質問内容

◎ 代 表 質 問

1 市民クラブ代表 議員 佐藤 義之

(1) 市長の政治姿勢について

① 3期12年の総括と自己評価

- ・ 3期12年において、市町村合併、行財政改革、夢と活力ある元気な会津若松市の実現などの総括と自己評価についての考えを示せ
- ・ 関係団体からの国政への期待が増す中、市長としての進退（4期目出馬）はどうするのか考えを示せ

(2) 平成23年度予算編成方針について

① 総枠配分方式の考え方

- ・ 導入後の成果と課題を示せ

② 地域活力再生戦略の推進

- ・ 事務事業の優先順位をどう見極めるのかその手法と判断の時期を示せ
- ・ 行政評価をどう反映させているのか具体的に示せ

③ 財政調整基金の使途

- ・ 財政調整基金の使途についてどう認識しているのか示せ

(3) 水田農業推進について

① 米価下落対策と水田農業の今後

- ・ 本年度産米価の大幅な下落により、米作農家経済はひん死の状態にあることから本市独自の対応策が必要と思うが考えを示せ
- ・ 安定した米価の確保には、本市独自の米の販路拡大策が必要と思うが、考えを示せ。また、姉妹・友好都市との農産物の交流促進は有効と考えるが見解を示せ
- ・ 農業者の高齢化や後継者不足、米価の大幅な下落等、環境が悪化する中であって、将来にわたり持続的に発展できる本市の水田農業を今後どのように展開するか考えを示せ
- ・ 会津米ブランド強化策の一環として、品質判定機（食味計）・穀粒選別機による品質の一定基準値以上の米（食味値77点以上）の生産について取り組むべきと思うが、市のかかわり方と考えを示せ

(4) コミュニティセンターの管理運営について

① 精算方式の継続

- ・ コミュニティセンターの指定管理料の支払い方法について、平成21年度から精算方式に移行したが、今後も精算方式を継続していくのであれば、赤字が発生した場合、市として指定管理料の追給を行うのか考えを示せ

② コミュニティセンターの人件費統一

- ・ コミュニティセンターの人件費については、各コミュニティセンターにより金額に違いがあり、不公平感が否めない。指定管理者に対し、市として調整を行うべきと思うが考えを示せ

2 社会民主党・市民連合代表 議員 長谷川 光 雄

(1) 将来を見据えたまちづくりについて

① 少子化対策

- ・ 少子化が進んだ要因と現状をどのように認識しているか示せ。さらに10年後・20年後の推移をどのように分析しているか示せ
- ・ 少子化に伴って、地域社会に対する影響をどのように考えているか認識を示せ
- ・ あいづわかまつこどもプラン（前期・後期）によってどのような効果と課題が出ているのか示せ
- ・ 計画の実現に向けた、家庭・地域社会・企業・行政の各主体の役割の達成状況を示せ
- ・ 家庭・地域社会・企業・行政がどのように連携を図り、協議しているのか示せ

② 人口流出防止対策

- ・ 人口流出する原因をどのように認識しているか示せ
- ・ 今まで実施してきた人口流出防止対策の効果と課題について示せ
- ・ 今後の人口流出防止対策をどのようにすべきと考えているのか見解を示せ

(2) 生きがいのある健康的な自立のまちづくりについて

① 地域、地区の活性化と健康なまちづくり

- ・ 地区及び地域の活性化が全体の活性化に結合する。したがって、その施策を展開する考えがあるのか見解を示せ
- ・ 子供の安心・安全なまちづくりを図るため、児童館及びこどもクラブの活動・活用状況と充実、拡大に向けた取り組みを示せ

- ・ 冬季間の高齢者への除雪支援体制の取り組み状況と支援体制強化に向けた取り組みを示せ
  - ・ 主要地方道北山会津若松線は重要な生活路線である。合併時の県への要望事項でもある。県との協議は進んでいるのか、あわせて今後の見通しを示せ
- (3) 市民主権の持続可能なまちづくりについて
- ① 政策形成システム
- ・ 地域社会の構築は従来の縦型から横型への転換が必要である。その必要性をどのように認識しているのか見解を示せ
  - ・ 事業の計画、推進にあたって市民に理解を得られるよう、事前の事業選択ルール化をより明確化する必要があると思うが認識を示せ
  - ・ 全体的な公共施設の維持管理、活用等を図るため、ストックマネジメント、アセットマネジメント計画を作成し、長期的な施設の活用を図るべきと考えるが見解を示せ
  - ・ 毎年、区長会から提出されている要望をどのように受け止め、市政に反映し市民の負託にこたえようとしているのか見解を示せ
- (4) 会津医療センター（仮称）とまちづくりについて
- ① 市民の声をどのように生かすか
- ・ 会津地域における少子化対策として産婦人科・小児科の設置を県に強く訴えるべきと考えるが認識を示せ
  - ・ 安定的な看護師の確保を図るため、福島県立医科大学看護学部会津校の開設を要望すべきと考えるが見解を示せ
  - ・ 会津医療センター（仮称）の開院が平成25年2月に予定されているが、通院・通勤などの足の確保を図るため、関係機関とどのような協議をしているのか示せ
  - ・ 会津医療センター（仮称）の開院とあわせ、周辺の開発と整備が予想されるが、市当局の都市計画の考えを示せ
  - ・ 会津医療センター（仮称）の開院に伴って、現在の県立病院の跡地活用が課題になる。市当局は活用の考えがあるのか。あれば県とどのように協議しているのか示せ
- (5) 農業政策とまちづくりについて
- ① 基幹産業である農業のあり方
- ・ 首長のアンケートでTPPに反対した理由を示せ
  - ・ TPPの本市への影響を試算したことがあるか。あれば概要を示せ

- ・ 戸別所得補償制度の導入などにより、アグリわかまつ活性化プラン21の見直しの必要性を示せ
- ・ 農業委員会から申し入れがあった建議書に対する受け止めと認識を示せ
- ・ 荒廃地・遊休地対策などの解消に向けた今後の方針を示せ
- ・ 少子化が急速に進む中、農地を農地として維持するために農政の長期プランの必要性について考えを示せ

(6) 循環型社会の構築について

① 各種政策とまちづくり

- ・ 森林・林業再生プランの認識とあわせて会津若松市の方向性を示せ
- ・ 里山などの整備の認識を示せ
- ・ 鳥獣対策のマニュアルの必要性と市民啓発の考えを示せ
- ・ 鳥獣捕獲隊の隊員の確保と育成について示せ

3 新生会津代表 議員 荒井 義 隆

(1) 経済対策について

① 米価下落と地域経済

- ・ 今年の米作は大幅な価格の下落とともに、高温障害による品質の悪化、収量の落ち込みなど米作農家の所得の低下は避けられない。そのことにより地域全体が衰退ムードにある。この現状にどう臨むか考えを示せ。また、このたびの農業委員会による建議書に対する取り組みの決意を示せ

② 工場誘致と雇用拡大

- ・ 工場誘致の現状と見通しを示せ。また、景気低迷により雇用が悪化している。失業者の増加は社会不安にもつながる。どのような対策を考えているか示せ

③ 公設市場の活性化

- ・ 経営が厳しくなり施設も老朽化しており、今後のあり方を総合的に検討する必要がある。そこで観光客向けの施設として開放してはどうか。また、指定管理者への管理委託も視野に入れてはどうか考えを示せ

(2) 無縁社会について

① 本市の現状と対策

- ・ 無縁死が大きな社会問題になってきている。本市はそれほどでもないが近い将来深刻になると思われる。そこで対策として地域とのつながりの強化や、失われつつある家族

のきずなの強化といった家族というものをいま一度考える機会をつくる取り組みが必要と考えるが見解を示せ

(3) 武士の郷づくりについて

① 取り組みの現状

- ・ かつて市当局は武士の郷づくりに取り組むことを明らかにした。この取り組みはどこまで進んでいるのか示せ

② 武道の必修化に対する取り組み

- ・ 平成24年度より始まる中学校における武道の必修化に伴い、受け入れの体制はどこまで進んでいるか示せ

③ 県立武道館誘致への取り組み

- ・ 県立武道館誘致に伴う運動が弱いのではないか。誘致運動を推進するための体制の充実強化を図っていくべきと考えるが見解を示せ

4 公志会代表 議員 浅田 誠

(1) 交通安全施策について

① 交通安全推進事業及び交通教育専門員事業の強化・拡充

- ・ 昭和53年度から開始して33年目となる交通安全推進事業において、これまでにどのような変遷をたどって現在に至ったのか。また、これまでの評価と課題をどう総括しているのか。そして当事業を今後さらに広範に強化していくべきと考えるが見解を示せ
- ・ 昭和42年度から開始して44年目を迎える交通教育専門員事業についても同様の視点から、活動内容の詳細も含めて見解を示せ
- ・ 当事業は現在19名で活動し、17名が朝の立しょうを通して交通安全思想の普及を図っているが、立しょう箇所を選定根拠と充足状況（箇所・人員）についての見解を示せ。さらに、各小学校区単位に配置できるよう募集要項のPR強化策など拡充すべきと考えるが見解を示せ
- ・ 交通教育専門員会が平成元年から組織化されたが、その背景と運営面も含めての評価と課題、さらには今後の対応については、規約の文言・表現も含めて再考すべきと考えるが見解を示せ

② 市民協働の交通安全対策の検証・提言（メロディーの流れる道路等）

- ・ 本年11月18日、北会津町において県道路環境整備技術調査委員会の現地調査検討会が開かれたとの新聞報道があっ

たが、この開催の背景及び本市の実態把握等のかかわり、そしてこの種の検討会に対する今後の取り組みや動向についての見解を示せ

- ・ 各地区の交通安全協会との連携を密にしながら各地区の実情を十分に把握し、適切な交通安全対策を講じるべきと考えるが見解を示せ
- ・ 具体的一例としては、細い道路から歩道・自転車道付きの幹線道路に進入する場合の交通安全対策として、停止線の道路表示に対する見解を示せ
- ・ 過去にイメージハンプによる安全対策を提起した経過にあるが、その後の検討状況を示せ。また、最近の先進事例としてメロディーの流れる道路整備による交通安全対策の実施が注目されており、この件に対し導入、検討すべきと考えるが見解を示せ

## (2) 商工行政について

### ① 地域資源の見通しと活用策の推進

- ・ 地場産業振興施策の展開として、ガラス材への漆加工やまき絵の適用拡大等注目される技術開発が報じられており、その基盤を支えている県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターとのこれまでの連携内容と、今後の本市地場産業振興への関与方法について、さらなる連携強化を図るべきと考えるが見解を示せ
- ・ 昭和60年度事業で設置された会津町方伝承館事業の25年間の変遷を踏まえての評価と課題を示せ。また、施設の機能を十分発揮できるようPRの強化を図るとともに、集客に創意工夫を凝らすべきと考えるが見解を示せ
- ・ 会津ブランド品や会津地域の逸品を取り扱う会津ブランド館のPRを強化し、認知度を向上させるとともにJRとの連携を強化し、会津ブランド陳列コーナーを設置して会津ブランド品を広く受発信すべきと考えるが見解を示せ
- ・ 会津ブランド品認定事業においては、現在本市を含め8地域45事業所、66品を認定しているが、そのブランド品を長期間味わいたいとのニーズから、セミドライ製法により対応が可能になったとの情報を耳にした。この加工技術を駆使して地域資源の再発掘、見直しにより会津ブランド品のさらなる拡大を図るべきと考えるが見解を示せ

### ② 会津産業ネットワークフォーラム（ANF）の強化・拡充

- ・ ANFの運営に対する本市のかかわりと、これまでの活

動を通しての評価と課題をどのように総括しているのか見解を示せ

- ・ ANFの設立背景も踏まえ、昨今の経済状況から本市の経済回復の起爆剤にもなってけん引されるよう大きな期待を寄せており、最大限の支援をし、強化・拡充すべきと考えるが見解を示せ
- ・ 現在3年目の活動を迎え、設立の目的に沿った具体的な取り組みは目を見張るものがあり、最新の課題として事務局機能の強化のあり方が取りざたされているようである。顧問の立場にある本市としては、全会津を視野にして支援の呼びかけを行うなどの取り組みが求められると考えられるが見解を示せ

### (3) 農業政策について

#### ① 米価下落への対応策

- ・ 平成21年度から25年度にかけて新潟県で導入された新潟版所得保障モデル事業は、本年の米価下落を予測した先見の明がある。さすが米どころ新潟の農業政策と感嘆するところであり、早急に本施策を導入すべく調査・検討すべきと考えるが見解を示せ
- ・ 収入減少の対応策として支出を切り詰めることも一考かと思ひ、年2回春・秋に実施している農業用使用済みプラスチック適正処理事業における回収料金の低減を検討すべきと考えるが見解を示せ

#### ② 農の雇用事業への支援策

- ・ 担い手総合支援事業における新規就農者対策事業は、本市農業の将来展望からは魅力ある施策であり、平成15年に会津若松市新規就農者支援センターが設立され、鋭意取り組みが進められていると推察するが、これまでの取り組み状況をどのように総括し、今後の事業内容にどのように反映していくのか見解を示せ
- ・ 当該センターの構成団体である本市、福島県のほか計5団体の役割分担と業務・事業へのかかわり状況について、なぜ5団体も必要なのかも含めて見解を示せ
- ・ 本年10月15日付けの全国農業新聞の掲載記事に、「農の雇用事業の2次募集が始まる」との報道があり、有意義な制度として紹介されていた。本市でも応募を検討すべきと考えるが見解を示せ

### (4) 教育行政について

- ① 少年劇場の開催事業の強化・拡充
- ・ 昭和57年度から開始し、28年を経過した現在もなお継続している当事業の魅力と評価について示せ。また、近年の参加児童の動向への見解を示せ
  - ・ 当事業に対する参加対象小学校及び児童の感触について見解を示せ
  - ・ 事業の基本事項にもあるように貴重な経験が得られ、情操豊かな児童育成が図られるとのことから、全児童に鑑賞させるよう対応すべきと考えており、当該年度の欠席者への配慮に対する認識を示せ。また、今後とも当事業は拡充しながら継続すべきと考えるが見解を示せ
- ② 全国学力テストの評価と課題及び今後の対応
- ・ 本年度より全国学力テストの実施方法が変更されたようだが、その背景と変更内容、本市の対応状況について示せ
  - ・ 国の抽出指定校以外の学校においては、記述式の解答に対してどのような採点方法で対応し、国の抽出指定校の採点、評価基準とどのように整合性を確保したのか見解を示せ
  - ・ この方法での学力テストの評価内容の活用について、昨年との比較も踏まえてどのような考えで対応するのか示せ
  - ・ 国の抽出指定校以外で実施した学校での採点、評価等の労苦をどのように考えているか示せ
  - ・ 本年度の全国学力テストの実施に対して全体総括をどのようにし、次年度以降に対してどう反映していく考えか示せ
- ③ 先進事例のサン・サンスタッフ派遣事業の導入
- ・ 神奈川県平塚市で、平成14年度に始まった国費による緊急地域雇用創出対策事業の学習支援補助員派遣事業を平成17年度から市の単独事業として取り組み、加えて平成18年度からは図書室学校司書も派遣配置して子供たち一人ひとりに太陽の光が当たるよう支援する事業に取り組んでいる。この事業を本市にも導入すべきと考えるが見解を示せ
  - ・ 導入が難しいとするならば、今後どのような対応策で教育行政推進プランを実践していく考えか示せ
  - ・ 本県の教員採用枠が狭く、他県の教員として活躍しているケースを多く耳にするが、このような優秀な人を本市独自に採用し、教育水準の向上に寄与すべきと考えるが見解を示せ



## 5 公明党代表 議員 近 藤 信 行

### (1) 財政政策について

#### ① 今後の課題への取り組み

- ・ 経済的インフラとしての道路の維持・修繕、更新及び水道施設の更新など、今後の戦略的な維持管理について方針を示せ
- ・ 社会的インフラとしての学校、福祉施設、文化施設、スポーツ施設、公営住宅、環境施設などの今後の戦略的な維持管理について方針を示せ

#### ② 資産老朽化の改善

- ・ 新旧耐震基準で建設された建物の面積と、築30年以上経過した建物の面積を示せ
- ・ 現状の認識と改善のための具体的な取り組みを示せ
- ・ 公共施設マネジメント白書を作成すべきと考えるが見解を示せ

### (2) 教育政策について

#### ① 学力向上への取り組み

- ・ 学力向上にプラスとなる豊かな人間関係の構築に対しての取り組みを示せ
- ・ Q uを活用し、学力向上につなげるべきと考えるが見解を示せ
- ・ 要保護、準要保護世帯の進学率と進学時における学力向上のための教育支援の取り組みを示せ

### (3) 福祉政策について

#### ① 無縁社会への取り組み

- ・ 地域包括支援センターが中心となり、関係機関団体などと連携を密にした高齢者の見守りネットワークを構築すべきと考えるが見解を示せ
- ・ 高齢者が安心して暮らせるモデル都市づくり、若者が希望を持てる社会の構築を目指すべきと考えるが見解を示せ

#### ② 介護保険へのポイント制導入

- ・ 高齢者がやりがいを持って介護予防に励める新たな支援システムをつくるべきと考えるが見解を示せ
- ・ 3年間介護保険を利用しなかった元気な高齢者には介護保険料やサービス利用料の負担軽減ができるような（仮称）お元気ポイントを発行して優遇をすべきと考えるが見解を示せ
- ・ 介護ボランティアに参加した高齢者にも（仮称）介護支

援ボランティアポイントを発行し、同様の負担軽減を図るべきと考えるが見解を示せ

③ 日本脳炎予防接種の勧奨

- ・ 未接種、不完全接種の児童の存在数を示せ
- ・ 空白期間の未接種児童に対する予防接種の勧奨をすべきと考えるが見解を示せ

④ 無料低額診療制度

- ・ 医療費支払い困難者からの相談件数とその対応について示せ
- ・ 人道的見地から無料低額診療制度を利用できる病院をふやすべきと考えるが見解を示せ

(4) 観光政策について

① 保科正之公生誕 400 年の取り組み

- ・ 第 2 次観光振興計画では平成 23 年、中間目標値が 365 万人としているが、達成のための取り組みを示せ
- ・ 正之公は朝鮮通信使と特別な関係にあり、贈り物などが現存していれば利活用すべきと考えるが見解を示せ
- ・ 韓国との観光交流を図るべきと考えるが見解を示せ
- ・ 会津藩の土台を築いた保科正之公の生誕 400 年を記念する取り組みについての考えを示せ